

ビフレンダー

BEFRIENDER

第 83 号

2015 年 8 月 発行

□新理事長・新所長が選任されました。～第16回総会・新理事会

5月30日(土)長堀安田ビル4階会議室で大阪自殺防止センターの第16回総会(NPO法人設立以前も含めて通算38回)が開催されました。2014年度活動・決算報告、2015年度事業計画・活動予算、規則改正案、役員を選任案が承認され、センター新所長には北條達人さんが選任されました。自殺防止活動を継続させるためにはボランティアの確保が欠かせず、いかに新しいボランティアを増やしていくか、さらに運営費においても、補助金の減額など厳しい状況が予想される中、広報、募金活動を強化していくことが、今後の大きな課題であることを確認して総会を終えました。

また、7月11日新理事会が開催され、長年お世話になった菅生理理事長が退任されることとなり、新理事長には前副理事長・元センター所長の横田康生さんが選任されました。今年度も当センターの活動へのご支援をよろしくお願いいたします。



横田康生理理事長ご挨拶

日夜、自殺防止活動に励んでおられるビフレンダーの皆様、また、その活動をご支援くださる皆様に、心より敬意と感謝の意を表します。

さて、1996年より、当センターの活動を大きく支え、見守っていただいた菅生理理事長がご退任されることになりました。非常に残念ですが、ご在任中のご厚情に改めて深謝いたします。

また、このたび菅生理理事長の後任として、身に余る重責を担うことになりました。1984年に第15期相談ボランティアとして認定を受け、30年間コーラーの声に耳を傾けてまいりました。今後は電話を離れ、当センターが自殺念慮を抱く方々にとって、一筋の光明となるよう、皆様方のご指導とご協力をいただき、微力ながらこの重責を全うするよう努めてまいります。よろしくお願い申し上げます。

北條達人所長(ディレクター)ご挨拶

さる5月30日の総会により、新たに所長に選任され、就任いたしました。これから4年間、もとより微力ではございますが、皆様のお力添えをいただき、所長の責任を果たしたいと思っております。

現在センターはボランティアの不足や資金の不足など、多くの課題を抱えております。これから5年、10年とセンターの活動を継続させていくためには、どれも早急に取り組まなければならない大きな課題です。まずはボランティアのつながりを大切に、それからメンバー一同、力を合わせて乗り越えていけたらと思っております。

コーラーの声や鳴り続ける電話のコール音を聞くたび、相談電話の必要性を実感いたします。死にたいと考えるほど追いつめられたつらい気持ちに耳を傾けられるよう、今後も多くの課題と向き合い、努力していきたいと思っております。今後ともご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



□「自死遺族支援フォーラム」を開催しました。

厚生労働省 H26 年度自殺防止対策事業として『自死遺族支援フォーラム』～自死遺族支援さまざまな形～を2015年3月1日(日)四日市市総合会館で開催しました。

このフォーラムは近畿で自死遺族わかちあいの会を開催している団体のネットワーク『自死遺族近畿ネット連絡会』の皆様のご協力を得て実施しました。『自死遺族近畿ネット連絡会』のメンバーはこころのカフェきょうと、リメンバー神戸、親の自死を語る会、はまかぜのつどい堺、よりそいの会あかり(奈良いのちの電話)、凧の会おうみ、大阪自殺防止センター6団体です。

自死で身近な人を亡くした人は亡くなった人をしのぶこともできず、一人でしんどさを抱えてどこにもだれにも話もできずにおられるだろうと思います。こういうわかちあいの会やつどいがあることをご存知ない方もたくさんいらっしゃいます。実際、わかちあいに来られた方から「こんな会があることを知らなかった。もっと早く来たかった。」という声を聞きます。そこで遺族支援をしているところがこんなにたくさんあることをより多くの人に知ってもらいたいという思いで、一部は基調講演として「自死遺族の置かれた立場」をテーマに梁勝則さん(リメンバー神戸代表、医療法人林山朝日診療所理事長)からお話しいただき、二部はリレートークという形で①「親の自死を語る会」③「こころのカフェきょうと」④「凧の会 おうみ」⑤大阪自殺防止センター 「土曜日のつどい」「水曜日のつどい」⑥奈良いのちの電話「よりそいの会 あかり」⑦「ガーベラ会」⑧「三重県分かち合いの会」⑨「自死遺族支援弁護団」⑩(自死・自殺相談センター) sotto ⑪リメンバー神戸 の11か所の紹介をするという内容で行いました。



ほんとうは身近な人を自死で亡くすという人を増やさないようにすることが大切だと思いますが、

現実には少なくなることはありません。相互に話をききあうわちあいの会も大切ですが、それだけではなく、こころも身体もしんどさを軽減できるようないろんな形の自死遺族支援が必要だと思えます。



私たちは電話相談で培った「傾聴とビフレンディング」を基本として、少しでもご遺族や身近な人を自死で亡くされた方のしんどさをやわらげられる場としてこれからもわちあいの会を続けていきたいと思えます



□BW 国際会議に出席しました。



BW って…？ ビフレンダーズ (Befrienders) ・ワールドワイド (Worldwide)、イギリスのサマリタンズから世界に広がっているビフレンダーズの集まりで、日本の6つの自殺防止センターをふくめ、世界約40ヶ国、約400のセンターが加盟しています。

6月20日(土)、21日(日)、カナダのモントリオールで5年ぶりにBW国際会議が開かれ、ディレクターはじめ3人が参加しました。11か国30人が集まる会議の今回のテーマの一つは、「自殺防止に関するテクノロジー(技術)」で、各国からは、若い人が相談しやすいようにチャット(インターネットを利用した文字による対話)を用いていること、またビフレンダー間の連絡にフェイスブックを利用すると関係者の意思疎通がはかれることなど、の発表がありました。他に各センターの兄弟姉妹関係を深めること(大阪はイギリスのヨークセンターと兄弟姉妹センターです。)、またよりよいビフレンディングのための効果的な研修について、話し合いました。

インドからは、津波などの被災地域からは電話が出来ないので、その地域に出向いて相談活動を行った事例、東欧のリトアニアからはユースラインという若者向け相談電話を運営しており、政府が40%運営補助して行っていることの報告がありました。

大阪センターからは、2014年度よりBW会費(大阪は年間約1万円負担)が集められているので、BWの予算・決算を開示されるよう要望し、了解されました。

活動地域や言葉は異なっても、感情に寄り添って自殺を防止するという姿勢は共通しており、ディナーパーティーなどを通して参加者と交流し、世界に多くの仲間がいることを肌で感じ元気づけられました。またBWの議長や理事、日本を担当する東アジアのコーディネーターほか幹部の方々とお互いカオがわかる関係を築けたことは、BWの一員としての実感が湧き、研修プログラムや相談の基本姿勢であるBW憲章についてより関心が深まりました。

今回の会議は、「国際自殺予防学会」の第28回世界大会に引き続いて開催され、両方参加したメンバーは、来年5月東京で開催される国際自殺予防学会・アジア太平洋地域大会に参加希望を述べられ、東京での再会を約して帰国の途に着きました。今回の参加にあたってご尽力いただいた皆さまに感謝いたします。



(左より) ポーンシップ東アジア地域コーディネーター、マーチン BW 議長とディナーパーティーのひととき

□ボランティア養成講座を10月28日から開催

大阪自殺防止センターでは春と秋の年2回ボランティア養成講座を開催しており、約4ヶ月間の体験学習中心のロールプレイ研修と約10ヶ月の実習で構成されています。**83期ボランティア養成講座は10月28日から毎週水曜日**に開催されます。時間は**午後1時から4時まで**です。センターの仕事は電話相談だけではありません。遺族の会のスタッフなど自殺防止活動にたくさんの方のお力が必要です。関心ある方は、ぜひご連絡下さい。

82期の養成講座は、4月15日から毎週水曜日夜に開催しました。講座の広報にあたり、3月3日(火)センター理事でもある精神科医の渡辺洋一郎先生をお招きし、「精神科疾患と自殺」のテーマで、公開講演会を開催しました。人を自殺に追い込む最大の因子は、「孤独」と「絶望」であり、自分のことを心配してくれる人、良くなることを願ってくれる人がいるといったつながり感が防波堤となる。「繋がっている」という思いを持ってもらうことが自殺予防の本質である、というお話で心に強く残るものとなりました。



西原由記子追悼文集「聴く」が刊行

「大阪自殺防止センター」の立ち上げに参加され、また大阪に続き東京で自殺防止センターを設立し、その後、松山、宮崎、熊野、岩手、あいちの各センターの設立にご尽力されて、今年2月7日にご逝去された西原由記子さんの追悼文集が刊行されました。西原さんの熱く、優しく、繊細だけどバイタリティーあふれる魅力的な姿を見せてくれる本です。本を希望される方は事務局までご連絡ください。



～自死遺族のつどいのご案内～

【大阪自殺防止センターの「わかちあいの会」について】

土曜日のつどい

毎月第1土曜日 午後2時～4時
地下鉄長堀橋駅近く
「長堀安田ビル」
参加費：300円
(1月・5月は休会)

水曜日のつどい

毎月第3水曜日 午後5時～7時
JR茨木駅近く
「渡辺クリニックデイケアルーム」
参加費：300円

詳しくは事務局におたずね下さい。

認定NPO法人

国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター

〒542-0081 大阪市中央区南船場1-11-9 長堀安田ビル9F

<http://www.spc-osaka.org/>

事務局 電話：06-6260-2155 FAX06-6260-2157

(月～金：午前10時～午後5時)

Befrienders
Worldwide
volunteer action to prevent suicide